

仙南地域における、宮城県各公所の取り組みを紹介します。

SENNAN the KING ザ 王

令和5年度第3号(通算第53号)

令和6年3月15日発行

大河原管内 合同広報誌
発行：宮城県大河原地方振興事務所

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。大河原地方振興事務所では、

蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めていきます。

The・KING ~ 今号の注目記事 ~

仙南の農業法人が生産したお米 「つや姫」と「ササニシキ」が 最高位を受賞！



農林水産大臣賞
農事組合法人北向結ファーム 「つや姫」、的場代表理事



第7代『ささ王』
エコファーム蔵王株式会社 村上代表取締役

県産米の品質等を評価する令和5年度宮城県農林産物品評会〔うるち玄米部門〕(宮城県等主催)において、県内各地から出品された134点の中から、令和5年秋に行われた審査の結果、村田町の農事組合法人北向結ファームの「つや姫」が最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

また、ササニシキ系米のおいしさを競うコンテストである第7回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2023(大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム等主催)では、全国から83点が出品され、令和5年11月に行われた1次審査及び最終審査の結果、蔵王町のエコファーム蔵王株式会社が栄えある第7代『ささ王』に輝きました。

令和5年は夏季の高温等の影響で品質低下を招きやすい条件の中、仙南の農業法人がこのような栄冠を獲得され、今後益々の発展が期待されます。

【大河原地方振興事務所 農業振興部】

「ひなの郷せんなん」のリーフレット・ポスターを作成しました

大河原地方振興事務所では、仙南地域、山形県置賜地域、福島県北地域のひな祭りイベントを一体的に紹介するリーフレット・ポスター「ひなの郷せんなん」を作成しました。

仙南地域では1月下旬から5月上旬にかけて、豪商の家に代々伝わるお雛様や歴史ある「享保ひな」の展示など、特色あるひな祭りイベントが各地で開催されています。既に公開が終わってしまった展示もありますが、5月上旬まで展示を行っている施設もありますので、ぜひHPやリーフレットを見て足をお運びください。

今回は、ひな祭り施設や観光地を巡るモデルコースも紹介しています。リーフレットは管内の観光案内所等で入手できますので、お出かけのご参考にしてください。

【地方振興事務所 地方振興部】



HPはこちらから



齋理屋敷で開催の「齋理の雛まつり」は3月31日まで開催中！



ひなの郷せんなんリーフレット

温泉PR動画を作成しました
〜みやぎ仙南湯めぐりにゃんこけしの旅〜

蔵王連峰の麓に広がる仙南地域は温泉の宝庫で、昔から多くの人に親しまれてきた様々な泉質の温泉があります。地方振興部では、管内の代表的な温泉地を「みやぎ蔵王温泉郷」として、リーフレットやHPにて発信しています。

温泉の魅力をさらに知ってもらうため、昨年度に引き続き、温泉PR動画「みやぎ仙南 湯めぐりにゃんこけしの旅」を作成し、SNSやHPにて発信しました。

今年度は、「小原温泉かつらの湯（白石市）」、「共同浴場神の湯（蔵王町）」、「遠刈田温泉まほろばの湯（蔵王町）」、「おおがわら天然温泉いい湯（大河原町）」の計4本を公開しました。

動画内では、温泉の個性をお伝えするため、一般社団法人宮城県温泉協会「温泉エキスパート」の遠藤さんに監修いただき、テロップで泉質や効能などの情報の紹介をしています。

ぜひ仙南地域の温泉に来て、見て、知って、楽しんでください。

【地方振興事務所 地方振興部】

動画はこちらからご覧いただけます。



にゃんこけしによる温泉の紹介



みやぎ仙南湯めぐりにゃんこけしの旅

小中学生キャリア教育推進事業を実施しました

大河原地方振興事務所では、将来的な人口減少に伴う地域産業の担い手確保に寄与するため、幼少期から地域産業の魅力に触れ、地域への愛着や誇りを醸成することを目的に、小中学生を対象としたキャリア教育推進事業を令和4年度から実施しています。

今年度は、白石市、角田市、柴田町及び川崎町において、延べ15校659人の生徒を対象に、製造業や観光業、農業、林業について紹介するプログラムを実施しました。

講師には、当所職員のほか、地域の事業者等をお招きし、学校内での体験活動や講話、グループワークにより、

地域産業の特徴や魅力を紹介しました。

子どもたちは、各産業に日頃から携わる講師からの説明や様々な体験を通じて、自分たちの住む地域や関連する産業について理解を深めていきました。

【地方振興事務所 地方振興部】



金属加工の体験
(ものづくり体験編)



観光振興に関する講話
(観光編「地域の観光の取組」)



花苗の寄せ植え体験
(農業講座「花苗寄せ植え体験」)



木製の箸づくり体験
(「木育」×「食育」プログラム)

令和5年度進路説明会を開催しました

普通課程(学卒者訓練)の理解を深めていただくために、高校1・2年生とその保護者、若年求職者の方を対象に進路説明会を1月20日に開催しました。

本校普通課程2科のうち、情報通信ネットワーク科は、情報通信分野における有線・無線に対応した技術操作やメンテナンスに必要な知識・技能を持った人材を育成し、修了生は情報通信関連会社などで活躍しています。



全体説明の様子

また、プログラムエンジニア科は、プログラム言語で実務的なプログラミングができる人材を育成し、修了生はソフトウェア関連会社などで活躍しています。学校見学を随時受け付けておりますので、本校に興味のある方は、お気軽に御連絡ください。

【白石高等技術専門学校】



施設見学の様子

令和5年度仙南地域農地集積研修会

を開催しました

農地整備事業は、農地の整備と共にその農地の担い手となる高度経営体の育成を目的としています。事業の一環として、令和5年12月8日に、農地整備事業の実施地区及び計画地区の生産者を対象とした農地集積研修会を開催しました。生産者、関係機関の担当者など約80名が参加し、今年度は、「スマート農業」をテーマに、加美町にある「農事組合法人いかずち」佐藤代表理事から地域農業継続に向けた農地集積とスマート農業導入による作業の省力化について、大郷町の「有限会社薬師



高橋代表取締役と佐藤代表理事による講演



講話の話を引き込まれます

農産」高橋代表取締役からは、新規品目導入とスマート農業に対する期待と課題について、それぞれ取り組み事例をご紹介いただきました。管内では、事業実施地区が11地区あり、新たに担い手法人を設立して、高収益作物の導入を行いながら営農を始める地区も多く、参加者は、今後の農業経営の発展に向けてそれぞれ思い描きながら熱心に聴講していました。

【地方振興事務所 農業農村整備部】

丸森町にて「第4回沢尻棚田写真コンテスト」

が開催されました

丸森町大張地区の「大張沢尻棚田」を題材とする作品を募集した写真コンテストが、今年も開催されました。4回目となる今回は、町内外41人から計83点の応募があり、厳正なる審査の結果、第一席となる「特選」のほか、「大槻代表賞」や「大張りきり賞」「ユニーク賞」など13作品が受賞しました。

令和5年12月18日、丸森物産いちば八雄館にて表彰式が執り行われたのち、同所にて12月26日まで作品展が開催されました。また、令和6年1月15日から31日にかけては、宮城県大河原合同庁舎1階ロビーにて初めて入賞作品の展示が行われました。

大張沢尻棚田は、農林水産省から「つなぐ棚田遺産」にも認定された美しい石積み棚田であり、四季それぞれに風光明媚な景色を見ることが出来ますので、ぜひ足を運んでみてください。

【地方振興事務所 農業農村整備部】



大河原合同庁舎での展示



八雄館での作品展



集落協定の大槻代表による表彰

角田市生まれ

県基幹種雄牛「昭光茂」PR活動を実施

令和4年6月、角田市生まれの種雄牛「昭光茂」あきみつしげが管内として9年ぶりに宮城県基幹種雄牛に選抜されました。令和6年1月16日の子牛市場（令和6年初セリ）では、「昭光茂」選抜以降、初めて産子が上場されました。これに合わせ、仙南地域畜産振興協議会では、幅広い認知と活用のためPR活動を実施しました。

当日は、のぼり旗の掲揚や、上場産子への徽章きしょうの装着、リーフレット配布などを通じ、多くの方々に「昭光茂」のPRができました。

物価高の影響による生産コストの増大等により、畜産農家は厳しい経営を強いられている中、当日上場された子牛たちは、購買者に高く評価され、今後の利用拡大に向け、弾みとなりました。

【地方振興事務所 畜産振興部】



PR活動を実施



徽章を装着した「昭光茂」産子

令和元年東日本台風による林道施設災害の復旧状況について

当管内の林道施設は39路線、111箇所¹に及ぶ被害が発生しました。そのうち丸森町内では、30路線もの被害があり、丸森町を支援しながら早期の復旧に取り組んでいます。

林道は多面的機能を有する森林の適正な整備、効率的な林業経営を図るために必要不可欠な施設であり、かつ、地域住民の生活道として重要な役割も併せて担っております。

令和5年度末までに29路線について復旧工事が完了見込みとなり、残り1路線についても早期完了に向けて引き続き支援を行っているところです。

地域の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、生活基盤となる林道施設の早期復旧について支援してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

【地方振興事務所 林業振興部】



被災した大谷地線の様子



完成した大谷地線の様子

「租税教室」を開催しました



「租税教室」の様子

仙南地域の教育関係機関と税務関係機関で構成する大河原地区租税教育推進協議会では、次代を担う児童や生徒に税の意義や役割を正しく理解していただくため、地域の小・中学校に講師を派遣する「租税教室」を開催しています。大河原県税事務所からは、5校の小中学校を訪問し、税金のしくみや使い道について授業を行いました。



1億円分の紙幣レプリカでの重さ体験

た。アニメーションDVDの上映や、1億円分の紙幣レプリカでの重さ体験などを行い、児童からは「教科書にも税金が使われていることが分かり大切に使用したいと思った」「きちんと納税したいと思った」などの感想をいただきました。この「租税教室」は、来年度以降も引き続き開催する予定です。

【大河原県税事務所】

観光・イベントに関するお知らせ



みやぎ仙南の郷土料理である「おくすかけ」のレシピや仙南地域でおくすかけを提供している店舗を紹介いたします。



みやぎ蔵王山麓に所在する白石市小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉、蔵王町遠刈田温泉及び川崎町青根温泉・義々温泉の各温泉地が連携し、「みやぎ蔵王温泉郷」として一体的な情報発信や誘客の取組を行っています。



「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から選定しました。



仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」やカフェ 60 店舗を御紹介しています。猫の神様「せんにゃん」と一緒に、スイーツ巡りをしてみてはいかがでしょうか。

せんなんスイーツPR
キャラクター
せんにゃん



X (旧 Twitter)



Instagram

大河原地方振興事務所公式 X・Instagram「いいっちゃね、みやぎ仙南！ #んだから〜」では、宮城県南地域のいいとこ情報を積極的に発信しています。

みやぎ県民大学「学校等開放講座」白銀の蔵王

冬の森体験

午前は、蔵王自然の家登山支援ボランティアの渡邊典男氏より、「ドルマ・カン峰を登頂して〜ネパールでの登山、冬山の装備について〜」の講義を行いました。昨年11月に登頂した経験を踏まえて、登山のスケジュールや呼吸法、飲食についての内容を話していただき、参加者も興味深く聞いていた様子でした。また、登山の装備についても、実物を



千年杉前で集合写真

紹介しながら説明がありました。その後、二班に分かれスノーシュートレッキングを行いました。雪不足が心配されましたが、自然の家のバスに乗ってえぼしスキー場まで移動し、千年杉コースを歩きました。まさに、白銀の蔵王を満喫できたひとときとなりました。

【蔵王自然の家】



渡邊典男氏による講演の様子

満喫！蔵王の冬

蔵王自然の家では、親子の絆を深めるとともに、蔵王の自然と四季の移り変わりを感ずることのできる親子対象の事業を、「満喫！蔵王」シリーズとして季節ごとに実施しています。春は新緑の中のトレッキング、夏は清流の沢登り、秋は紅葉を堪能する登山。そして冬は、テーマを「家族で蔵王の冬を遊びつくす2日間」として、スノートレッキングをメ

インに、1月27日と28日の1泊2日の日程で、37家族95名の参加で開催しました。1日目は、「ざおうさま」と一緒に雪像づくりとそり遊び、夜にはスノーキャンドルを行い、2日目はスノーシュー、歩くスキーのグループに分かれ、野鳥の森のトレッキングを行いました。豊かな自然に抱かれ、蔵王の冬を存分に満喫し、親子で楽しむことのできた2日間となりました。

【蔵王自然の家】



ざおうさまと記念撮影



スノーキャンドル



スノーシュートレッキング



木の上から記念撮影

～#おらほの推しのスイーツ～



甲冑の着付け体験



こけしの絵付け体験

仙南地域の青年が一堂に会し地域との交流活動を行ってきた「仙南青年文化祭」。今年度は、白石市の中央公民館で開催しました。当日は、各市町イチ推しスイーツの販売や開催地白石ならではのこけしの絵付け体験、温麺巻紙デザイン、甲冑の着付け体験など様々な催しを展開。ご来場の皆様にもきっと満足いただけたものと思います。

地元高校生のアクトや体験ブース等もあり、文字通り「仙南地域の若者文化の祭典」となりました。

【大河原教育事務所】

次号は7月中旬の発行予定です

【編集後記】

今号では、「ひなの郷せんなん」について紹介しました。どの施設も歴史ある雛人形が飾られ、見事なものばかりです。また、仙南地域には、蔵王連峰の山あいから湧き出る温泉が数多くあり、温泉の宝庫として知られています。

ぜひ、仙南地域のひな祭り施設や温泉を巡っていただき、お楽しみください。

読者の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。下記までお気軽にお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部
〒989-1243 柴田郡大河原町字南 129-1

TEL : 0224-53-3182 (直通)

FAX : 0224-53-3076

E-mail : oksinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>

